

## [01] 大学教育研究センターニュース

<https://hdl.handle.net/2324/20130>

---

出版情報：大学教育研究センターニュース. 1, 1994-05-25. 九州大学大学教育研究センター  
バージョン：  
権利関係：

# 大学教育研究センターニュース

No. 1      平成6年5月25日 発行      (編集)九州大学大学教育研究センター

「大学教育研究センターニュース」の発刊にあたって

大学教育研究センター長 原 田 博

大学教育研究センターは、教養部組織の廃止に伴い、全学共通教育を企画、調整、運営し、かつ大学教育の基礎的研究を行う組織として発足しました。そこで組織の改編並びに新しいカリキュラムの下での全学共通教育の円滑な実施をめざして、全学共通教育科目授業担当者を含めた教官向けの広報誌として「大学教育研究センターニュース」を発刊することになりました。全学共通教育に関連する報告、企画、情報等を「ニュース」に掲載し、今後の教育改革の発展に寄与できればと考えております。「ニュース」の積極的な活用をお願い致します。なお、全学共通教育科目履修学生を対象とする広報誌としては別に「R a d i x」を発行しています。

## 今号の主な内容

第1回大学教育研究センター委員会開催さる。

国立7大学旧教養(学)部長会議開催さる。

個別シラバスの提出のお願い。

大学教育研究センター委員会委員名簿      全学共通教育実施委員会委員名簿

教養教育第一実施部会委員名簿      コア教養科目領域担当者会議正副代表者名簿

教養教育第二実施部会委員名簿      基礎科学教育科目科目担当者会議正副代表者名簿

基礎科学教育実施部会委員名簿      R a d i x 編集委員会委員名簿

第1回大学教育研究センター委員会が開催されました。

同委員会（以下、センター委員会）は平成6年4月18日（月）午後4時30分から六本松地区地区で開催され、次の審議決定が行われた。

- 1 センター委員会の委員に、九州大学大学教育研究センター規則（暫定）の第六条第四項のその他センター長が必要と認めた者若干人に該当する者として、比較社会文化研究科と数理学研究科の委員、5つの実施部会の部会長およびセンター専任の教授を加えることを承認した。
- 2 センター委員会の副委員長に堤壽一教授（農学部）を選出した。
- 3 センター委員会の役割について審議した。
- 4 全学共通教育実施委員会の委員に、センター専任教官を加えることを承認し、実施委員会の副委員長として押川元重教授（センター専任）を当てることを了承した。
- 5 各実施部会の委員について、各部局から推薦された委員名簿が紹介され、センター専任教官を1名ずつ加えることを承認した。
- 6 平成6年度既修得単位の認定について実施委員会の案（21名）が承認された。
- 7 平成6年度九州地区合宿共同授業の計画案が説明され、履修者については周辺教養科目として2単位を認定できることが承認された。

メインテーマ 九州・沖縄の自画像—過去・現在・未来—

会場 九重共同研修所

期間 平成6年7月9日—7月13日

- 8 全学共通教育広報紙 R a d i x 編集委員会内規が承認され、平成6年度編集委員が承認された。
- 9 平成6年度入学者数が報告され、クラス割案が追認された。

国立七大学旧教養（学）部長会議が開かれました。

会議は平成6年4月22日に東京大学において開催され、次の説明、報告、討議が行われました。

- 1 文部省の常盤豊大学課課長補佐の挨拶と次の状況説明がありました。

1) 大学改革の推進状況について

a 自己点検・評価の実施状況

b 個性的で特色ある教育の実施

カリキュラム改革とその内容、シラバス、学生による授業評価、少人数教育の実施、入学時期の弾力化、単位互換、科目等履修生、大学以外の教育施設における単位の認定、編入学

c 生涯学習ニーズへの対応

2) 経費について

a 平成6年度の国立学校特別会計予定額は、全体として人件費、物件費ともに増加していること、特に、国立学校施設の整備費は20、6%の増であること。

b 国立大学の整備充実のための予算主要事項については、学生当・教官当積算校費の単価改訂(1、8%増)、高度化推進特別経費約61億円(9億円増)、大学改革推進経費(カリキュラム改革等大学改革を支援するための新規の経費)として約30億円が計上されていること。特に大学改革推進経費については、シラバス作成費、専門教育と共通教育の一貫化、少人数教育の充実、情報処理、外国語教育の改善等に関わる経費を含むこと。施設費関係では、文教施設費約1064億円(約175億円増)、施設基準面積の改訂(約20%増)等。

c 大学課に大学改革推進室が設置されたこと。

3) 機構・定員関係について

宇都宮大、千葉大、新潟大、大阪大、岡山大、九州大の6大学において教養部の廃止、再編成等が行われたこと。

4) 理工系の教官を中心としてなされた「大学再生のための7つの提言」(平成6年3月)について

以上の文部省の説明に対する質疑の主要点は、高度化推進特別経費に含まれるティーチングアシスタントに関すること、大学改革推進経費の内容、そして大学院重点化に関してであった。特にティーチングアシスタントに関しては、経費支出をDCからMCまで拡大することに伴う、一大学当りの枠の減少、また、大学院重点化に関しては、上に大学院を持たない学部(ex、総合人間学部、情報文化学部)の場合は重点化はどのようなことになるのかということが問題になった。

2 各大学の現状報告が行われた。北大を除いて既に各大学とも教養部組織の改編をすすめているので(東北大=大学教育研究センター、国際文化研究科、情報学研究科、東大=数理学研究科、名大=情報文化学部、人間情報学研究科、京大=総合人間学部、人間環境学研究科、

阪大＝全学共通教育機構、公共政策研究科、九大＝大学教育研究センター、比較社会文化研究科、数理学研究科)、組織改編と新カリキュラムの施行過程の現状と問題点が次のように報告された。

- 1) 北大は、平成7年度からの改革に向けて、3つの専門委員会、全学教育センターの設置、学務部の設置、全学教育科目の設定を検討していること。
- 2) 東北大は、全学共通教育に関するアンケート調査(教官、学生)を行ったこと、大学教育研究センター年報を作成したこと。
- 3) 京大は、人間・環境学研究科の講義と全学共通教育の担当による負担増の問題、および全学共通教育への全学協力の成果、とくに研究所・センターからの開講が特徴的で、それらの科目は聴講学生で溢れていること。
- 4) 名大は、「1994 SYLLABUS、全学共通科目授業要覧」を公刊したこと。
- 5) 阪大は、学内措置による全学共通教育機構の設置の説明、機構長は副学長であること、各部局からの教官による学生相談室が設置されたこと。
- 6) 東大は、「教育・研究評価報告書」(平成5年11月)を刊行したこと、教養学部の組織、研究・教育の内容、大学院総合文化研究科の改革の内容、「駒場1993」の紹介、少人数教育(英語、文系の基礎演習、理系の基礎実験)の実施、および、10学部・12研究科の教官参加による共通教育の多様化。

#### 個別シラバスの提出のお願い

全学共通教育科目の共通シラバス等については「履修の手引き」に掲載していますが、各教官が担当授業科目の授業の内容・進行・参考図書・成績評価法などを記載したシラバスを作成し、履修学生に配布することが望まれます。そのような個別シラバスの作成奨励の参考にするために、作成されたシラバスを提出していただくようお願いいたします。シラバスの内容や形式は問いません。比較社会文化研究科等事務部企画掛までお届ください。

大学教育研究センター長 原田 溥

大学教育研究センター委員会委員名簿

委員長	センター長	原田 溥 教授
	文学部	川勝 賢亮 教授
副委員長	教育学部	岡本 英明 教授
	法学部	野田 進 教授
	経済学部	萩野 喜弘 教授
	理学部	伊藤 明夫 教授
	医学部	居石 克夫 教授
	歯学部	太田 道雄 教授
	薬学部	渡辺 繁紀 教授
	工学部	中武 一明 教授
	農学部	堤 壽一 教授
	比較社会文化研究科	森 俊洋 教授
	数理学研究科	濱地 敏弘 教授
	総合理工学研究科	雨宮 真人 教授
	生体防御医学研究所	勝木 元也 教授
	応用力学研究所	大楠 丹 教授
	機能物質科学研究所	竹下 齊 教授
	健康科学センター	徳永 幹雄 教授
	言語文化部	吉野 昌昭 教授
	教養教育科目第一実施部会部会長	中山 正敏 教授
	教養教育科目第二実施部会部会長	未 定
	基礎科学教育科目実施部会部会長	石川 暢洋 教授
	言語文化科目実施部会部会長	鬼塚 敬一 教授
	健康・スポーツ科学科目 実施部会部会長	小宮 秀一 教授
	学生部長	菅野 道廣 教授
	大学教育研究センター	押川 元重 教授

全学共通教育実施委員会委員名簿

委員長	大学教育研究センター長	原田 溥 教授
	教養教育科目第一実施部会	中山 正敏 教授 (理学部)
	教養教育科目第二実施部会	森 俊洋 教授 (比較社会文化研究科)
	基礎科学教育科目実施部会	石川 暢洋 教授 (数理学研究科)
	言語文化科目実施部会	武田 信一 教授 (理学部)
副委員長	健康・スポーツ科学科目実施部会	鬼塚 敬一 教授 (言語文化部)
	大学教育研究センター	田畑 義之 助教授 (言語文化部)
	大学教育研究センター	小宮 秀一 教授 (健康科学センター)
		多々納 秀雄 教授 (健康科学センター)
		押川 元重 教授
		小山 紘三 助教授

コア教養科目の領域担当者会議代表者および副代表者

領域名	代表者	副代表者
歴史と異文化理解	小野 菊雄 教授 (文学部)	森川 哲雄 教授 (比較社会文化研究科)
人間と文化	森 俊洋 教授 (比較社会文化研究科)	辛島 正雄 助教授 (文学部)
現代社会の構造	福留 久大 教授 (経済学部)	伊藤 司 助教授 (法学部)
地球と生命	矢田 脩 助教授 (比較社会文化研究科)	鹿島 薫 助教授 (理学部)
数理と情報	鎌田 正良 教授 (数理学研究科)	宮原 哲浩 助教授 (理学部)
物質の世界	中山 正敏 教授 (理学部)	吉村 和久 教授 (理学部)

基礎科学教育科目の科目担当者会議代表者及び副代表者

科目	代表者	副代表者
数学	石川 暢洋 教授 (数理学研究科)	岩瀬 則夫 助教授 (数理学研究科)
物理学	武田 信一 教授 (理学部)	三好 永作 教授 (理学部)
化学	金富 元 教授 (理学部)	野村 和生 助教授 (理学部)
地学	酒井 治孝 助教授 (比較社会文化研究科)	石田 清隆 助教授 (比較社会文化研究科)
生物学	岡山 繁樹 教授 (理学部)	小早川義尚 助教授 (理学部)
図学	有吉 省吾 助教授 (工学部)	大月 伸男 助教授 (工学部)
情報科学	廣川 佐千男助教授 (理学部)	宮原 哲浩 助教授 (理学部)

平成6年度全学共通教育広報紙 R a d i x 編集委員会委員名簿

文系教官	杉山あかし 助教授 (比較社会文化研究科)
理系教官	竹原 公 助教授 (理学部)
言語文化科目担当教官	田中洋子 助教授 (言語文化部)
健康・スポーツ科学科目担当教官	熊谷秋三 助教授 (健康科学センター)
六本松地区学生委員会委員	松原孝俊 助教授 (言語文化部)
学生指導教官	園田五郎 教授 (健康科学センター)
大学教育研究センター専任教官	小山紘三 助教授 (大学教育研究センター)
比較社会文化研究科等事務部事務官	空閑龍二 事務官 (事務長補佐)

教養教育第一実施部会委員名簿

副部会長	歴史と異文化理解	小野 菊雄	教授 (文学部)
	人間と文化	森 俊洋	教授 (比較社会文化研究科)
部会長	現代社会の構造	福留 久大	教授 (経済学部)
	地球と生命	矢田 脩	助教授 (比較社会文化研究科)
	数理と情報	鎌田 正良	教授 (数理学研究科)
	物質の世界	中山 正敏	教授 (理学部)
	大学教育研究センター	押川 元重	教授

教養教育第二実施部会委員名簿

文学部	川勝 賢亮	教授
教育学部	新谷 恭明	助教授
法学部	土井 政和	教授
経済学部	福留 久大	教授
理学部	松田 義尚	教授
医学部	居石 克夫	教授
歯学部	田中 輝男	教授
薬学部	渡辺 繁紀	教授
工学部	井澤 英二	教授
農学部	谷口 栄二	教授
比較社会文化研究科	石田 清隆	助教授
数理学研究科	石川 暢洋	教授
総合理工学研究科	森永 健次	教授
大学教育研究センター	押川 元重	教授

基礎科学教育実施部会委員名簿

部会長	数学	石川 暢洋	教授 (数理学研究科)
副部会長	物理学	武田 信一	教授 (理学部)
	化学	金富 元	教授 (理学部)
	地学	酒井 治孝	助教授 (比較社会文化研究科)
	生物学	岡山 繁樹	教授 (理学部)
	工学	有吉 省吾	助教授 (工学部)
	情報科学	廣川 佐千男	助教授 (理学部)
	大学教育研究センター	小山 紘三	助教授